

# 医師・看護師・介護職員の大幅増員を

# 日本医労連増員闘争ニュース

第 65 号

2010年3月1日

日本医労連増員闘争本部

TEL:03-3875-5871

FAX:03-3875-6270

## ヒロシマ地域総行動&「病院キャラバン」のべ400名、 終日「対話と共同」広げる

### 医師会・看護協会、病院や介護施設など訪ね「いのちを守る共同」呼びかけ懇談 (広島県医労連ニュース 2/26 より)

広島県医労連は、地域総行動で、11 病院 2 介護施設、4 医師会・看護協会への要請・懇談を行いました。「医師・看護師、介護職員の増員」「後期高齢者医療制度の即時廃止」に加え、今回初めて障害者団体と組んで、入院時のヘルパー派遣措置など「重度障害者の受療権保障」での要請も行いました。

#### ◆ 広島県看護協会：「働き続けられる職場環境を重要課題に取り組んでいます」

亀井委員長はじめ県医労連の看護師ら6名が訪ねました。富田専務理事・内山事務局長とは、昨秋につづく懇談で、いっそう充実した活動交流となりました。特に、昨夏の「看護師確保法」改正で、4月から病院などに義務づけられた「新人看護職員への研修」が話題に。施設の取り組みを支援するための国の予算が、例の“事業仕分け”で半減させられたこと。それでも広島では県に働きかけ、「全事業で」補助の予算をつけさせたので、ぜひ活用をしてほしいこと。最初に「働き続けられる職場環境を重要課題に取り組んでいます」と切り出した協会側の熱意が、ヒシヒシと伝わってきました。

職場の事例をあげながら、労働条件改善の大切さをうったえる医労連。「そんな事があるとは…」「今後ともいろいろなご意見を」と言われ、すかさず！「春の看護週間の行事で、署名やメッセージを」と、呼びかけました。



#### 「病院キャラバン」

◆ A 公立病院：事務部長「政権交代に期待していたが、ガッカリしている」 広島市市民病院労組が責任団体となった、地域密着の医療実践で信頼を集める公立病院。診療報酬改定について事務部長は、「政権交代して期待していたが、この病院では試算するとむしろ収益が下がる。ガッカリしている」と話します。「ここはマイナスになるが、赤字

にならないように経営のことを考えると、患者さんを“選ぶ”ことになり、それは本意ではない」と苦しい胸の内も。法外な「紹介手数料」が深刻な問題となっている「看護師の紹介予定派遣」について看護部長さんからは、「医労連には、この方面の運動こそがんばってほしい」と期待が寄せられました。

#### ◆ B 公立病院：定数削減下でも看護師増員！

国共病組広島記念病院支部の担当。公務職場全体の定数削減下でも、「救急救命など医療のために必要」と、看護師やコメディカル部門での定数は今年増員へ。育児短時間勤務制度も活用されており、「人は宝です」「看護師の離職者は少なく定着」と、総務課長。 【次ページへ】



## ◆100床未満民間病院：後期高齢者医療「先をみると不安になる」と事務長



広島医療生協労組の担当。一般病床と医療療養病床、あわせて100床未満の民間病院で。「介護職員処遇改善交付金の対象施設ではないが、施設負担でそれに見合う支給をしています」と事務長。後期高齢者医療制度廃止では、「先をみると不安になる。国が（医療の充実）やってくれるならいいけど…」とつぶやきも。

## ◆介護老健施設：事務長「看護師」は業者紹介しかない」と怒る

広島中央保健生協労組は、年金者組合など地域総行動参加団体と組んだコースも。ある介護老健施設では、「どの署名も要求ばかり、財源はどうするのか！」と協力で否定的な事務長さんともじっくり対話。看護師の確保に話が及んだところで、「業者紹介しかない。これには怒りを持つ！」と、ようやく？共通点がみえました。

「来年また来ますので、よろしく」と笑顔で挨拶し署名あずかっていただきました。



# 長時間労働・夜勤問題に関するシンポジウム

【コーディネーター】 高田なお子 氏 自治労連中央執行委員 憲法・社会保障局長

### シンポジスト

- 西山 幸代 氏 大阪赤十字病院看護師 全日赤大阪赤十字病院労働組合副委員長
- 森 陽子 氏 日本航空客室乗務員 日本航空キャビンクルーユニオン執行委員
- 佐々木 司 氏 (財)労働科学研究所 慢性疲労研究センター長・主任研究員
- 川人 博 氏 川人法律事務所代表・弁護士

## 東京・星陵会館大ホール

## 2010年3月4日(木) 14時～16時30分